

「薬草農福」で就労支援

株式会社夕張ツムラ

×

滝沢市 みやま会 就労継続支援B型事業所「1」

久慈市 mam's hug 就労継続支援A・B型事業所「ぎゅっと。」

八幡平市社会福祉協議会 指定障害福祉サービス事業所「ポパイの家」

「薬草農福」への取組

ツムラの漢方薬と言えば誰しもご存じのとおり、医療用漢方製剤で市場トップの株式会社ツムラです。夕張ツムラはそのグループ会社で、北海道における原料生薬の生産・調達・調製加工・保管を行う拠点として設立されました。

ツムラグループで使用する原料の9割は中国産で、日本・ラオスその他地域が1割程度。気候変動や自然災害など様々なリスクに備えるため、国内での安定確保が必要な状況にあり、夕張ツムラと岩手県南広域振興局農政部から本会に「薬用作物栽培をしている農家の収穫後の調製作業（根っこをほぐしたり、土をふるったり、切り分けたり）を障がい者施設でできな

いか？」との相談がありました。これを受けて本会では、県内（岩手町）に㈱夕張ツムラ東北事業部があり、社会福祉法人との連携実績もあることや、薬の原料を作る仕事であり社会貢献性も高いことなどから、就労支援事業所での生産や連携も可能と考え、2022年度に就労支援事業所を対象とした薬草農福に関する連携セミナーを開催し、夕張ツムラの東北事業部長松葉氏から、薬用作物の栽培や条件等について講義していただきました。令和5年8月頃から、3事業所で薬用作物のカノコソウの生産が始まっています。

～ 自分たちが作り、育てているという誇り ～

夕張ツムラの指導を受けながら追肥や除草を行い、令和6年10月に薬効のある根や根茎を収穫し、全量を夕張ツムラが買い取ります。

安定した価格で買い取ってもらい、就労継続支援事業所の利用者の皆さんも、軌道に乗れば工賃向上も期待できるほか、大手企業との連携で、「自分たちがその原料を作っている」という働き甲斐にも繋がります。

夕張ツムラの松葉氏より、「希望があれば他の施設とも連携して、面積を広げていきたい」と今後を見据えた話もありました。

「薬用作物の安定供給」と「事業所収入の安定」というウィン・ウィンの関係をつくりながら、将来的には、就労支援事業所が薬用作物栽培を手掛ける「薬草農福」が岩手で拡大していくことを視野に入れて、取組が続けられています。



※夕張ツムラは2009年に設立。道内を中心に委託契約先や自社農場で薬用作物を栽培しているほか、原料生薬の調製加工（蒸したり、乾燥する加工）・保管などを手掛けています。